

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課  
 担当名: 補修担当  
 内線: 875105

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P22	インフラ日常管理DX推進費(道路)			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路管理費		
事業期間	令和7年度～	根拠法令	道路法			針路	09	未来を見据えた社会基盤の創造	SDGsゴール 9, 11, 13	
						分野施策	0903	埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築	SDGsターゲット 9-1, 11-5, 11-7, 11-10	
<b>1 事業概要</b> 道路・河川については、道路法、河川法に基づき適切に管理しなければならないため、地域機関における道路・河川のパトロール実施、地域住民からの苦情や要望受付等、現地での対応が不可欠である。 パトロール日誌や苦情報告書の作成では、位置情報と連携させる必要があるため、現場の写真や位置図の添付、記録データの管理等を手作業で行っている。 そこで、インフラ日常管理業務の更なるDXを推進するため、道路・河川の維持管理を支援するシステムを導入し、情報の一元化を図り、業務の効率化と、県民サービスの向上を目指す。  事業費の確定による減額補正 △2,151千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 インフラ日常管理(道路・河川)の「情報の一元化」「迅速な情報連携」「情報の見える化」を図るため、道路・河川管理を支援するシステムを導入する。  事業費の確定による減額補正 △2,151千円  (2) 事業計画 ア 事業実施時期 令和7年度～ イ 道路・河川維持管理支援システムの機能 (ア)道路・河川パトロールの巡回ルートや損傷箇所、不法投棄箇所等の記録をスマートフォンアプリで行う。 (イ)現場で記録した情報に加えて、職員が事務所で受けた情報をクラウド上で記録することで、リアルタイムで県庁、各県土整備事務所、現地パトロールとの情報共有を可能にする。 (ウ)パトロールや県民からの苦情記録で蓄積されたデータをヒートマップ等で可視化する。 ウ 事業実施箇所 12県土整備事務所、道路環境課、河川環境課  (3) 事業効果 インフラ日常管理システムの導入により、職員の業務時間の削減、パトロール業務の効率化など、業務の改善が図られる。  <b>【活動指標(アウトプット)】</b> 書類作成時間の削減、データ集計事務の効率化(1人あたり月7時間) パトロール日誌作成時間の削減(年間3,660時間) <b>【成果指標(アウトカム)】</b> インフラ日常管理業務のDX化が進み、計画的なパトロールが実現することで異常箇所の早期発見、早期対応など道路・河川管理利用者の安心・安全が確保されている。また、データの蓄積によるインフラ管理の高度化により、						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)										
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×0.29人=2,755千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,151							△2,151	12,489	
現計額	14,640							14,640		

## 事業内訳書

事業名	インフラ日常管理DX推進費（道路）		
単位事業名	インフラ日常管理DX推進費	予算額	△ 2,151千円

### ○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,151	—	
合計	△2,151	—	

### ○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△2,151	—	契約差金が生じたことによるシステム導入等業務委託の減
合計	△2,151	—	